

農業者の所得増大に向けて

外国人技能 実習制度

生産力強化への取組

○監理団体としてのJA北つくば

平成14年、外国人技能実習生受入に係る監理団体として登録申請し、中国人技能実習生の受入開始

平成26年10月より新たにベトナムより技能実習生の受入開始

○新たに監理団体「協同組合エコ・リード」が発足

平成26年、監理団体としてJA茨城県中央会により「協同組合エコ・リード」が発足し、県内の監理団体として活動をスタート

JA北つくばとしても受入移行を進め、平成30年8月に完全移行となる



農業者の所得増大に向けて

農業用ドローン



農業経営力向上への取組

○最先端農業説明会の開催

- ・IT(情報技術)を活用したドローンでの農薬散布
- ・トラクター等の自動走行支援システム
- ・水田の水位、温度などの管理を省略化する水田センサー

農業者の所得増大に向けて

税務申告 記帳代行

農家経営支援の取組



1. 事業所得に係る取引の記帳
2. 青色(白色)決算書の作成支援
※一般・不動産含む
3. 所得税・消費税の確定申告書の作成支援
専従者・雇人の源泉徴収・年末調整支援

経営分析書の作成

※申告書類は、契約した税理士が作成

地域の保全に向けて

アグリファーム 株式会社

農業経営の取組①

農業者の高齢化に伴う耕作放棄地の増加を解消するため
(平成22年度JA本体にて開始⇒平成26年度子会社化)



地域の保全に向けて

アグリファーム 株式会社

農業経営の取組②

水稻栽培(平成30年 作付面積32.3ha)

あさひの夢の飼料用(区分管理)作付けを実施

ネギ栽培(平成30年 作付面積1.6ha)

山間の丘陵地での栽培が多く、獣害被害の低減実証を図るための品目選定を行う周年栽培が可能となり、中期的な営農計画の策定が可能

玉ねぎ栽培(平成30年 作付面積32.3ha)

平成27年度より補助事業(リース事業)を活用し、獣害被害の少ない品目の栽培を行う近隣JAと連携し、契約販売を行い、今後、機械化により効率性を高める



地域の保全に向けて

アグリファーム 株式会社

農業経営の取組③



オリーブ栽培

平成28年3月に4品種を20a定植

⇒ 平成30年度には総面積1haに拡大

令和8年度には8ha⇒地域観光・6次化を目指す



遊休農地・耕作放棄地等の対策

耕作を依頼される農地のほとんどが、条件不利地や荒廃農地であり、かつ、点在している農地の多面的機能を発揮するためにも、不作付地や耕作放棄地等を再生利用して農地の有効活用を図ることで、地域農業の振興はもとより「JAの存在意義」を発信



次世代に向けて

はだしっ子

子育て支援の取組

・平成20年4月10日開始

(岩瀬地区旧東部出張所)

・支援センター長と保育士2名、子育て支援研究員(JA職員)5名、合計8名で運営

・毎週2回の自由あそび、月1回の企画あそびなどを開催

・平成26年度より月1回、結城南支店2階にて「はだしっ子ひろば」を開催

登録組数 602組(平成30年度)



JA北つくば自己改革

私たちJA北つくばは地域の「農業」と「暮らし」を支え、組合員や地域のみなさまから、必要とされるJA、愛されるJAを目指して自己改革を進めています。

農業者所得の増大に貢献するため、営農販売部門の強化に全力で取り組み、これからも農家のみなさまと作物の実りを共に喜び、収穫を共に祝うJAでありたいと考えています。また、支店を中心とした総合事業活動やくらしの活動を展開し、協同組合運動の実践に取り組み、地域農業振興と豊かなくらしづくりに努めます。

これからも、組合員や地域のみなさまとの「ふれ愛」を大切にしながら自己改革にチャレンジしてまいります。

北つくば農業協同組合

耕そう、大地と地域の未来。  JAグループ

